

病医院の経営分析参考指標(平成20年度決算分)の概要

1. 一般病院

①機能性の状況

一般病院の有効集計対象726施設の機能性の状況は次のとおりです。
 ①平均病床数は191床、病床利用率は80.0%、平均在院日数は22.6日、入院外来比が1.93、新患率が10.6%となっており、前年の平成19年度決算での施設の状況とほぼ同じ水準でした。
 ②病床1床当たり医業収益は15,746千円で前年度比0.5%増、患者1人1日当たり医業収益は入院で36,974円(同2.7%増)、外来で9,460円(同1.8%増)でした。
 ③従事者数の状況については、1施設当たり従事者数では医師(常勤)19.9人、同(非常勤)4.8人、看護師等135.8人で、患者100人当たり従事者数では医師(常勤)7.9人、同(非常勤)1.9人、看護師等54.1人となり、いずれも増加しています。

区 分	一般病院				
	平成19年度	平成20年度	増減(%ポイント)		
			増減(%ポイント)	対前年増減率(%)	
施設数(施設)	659	726	—	—	
平均病床数(床)	188.0	191.0	3.0	1.6	
病床利用率(%)	81.2	80.0	▲1.2	▲1.5	
平均在院日数(日)	23.0	22.6	▲0.4	▲1.7	
入院外来比	1.95	1.93	▲0.02	▲1.0	
新患率(%)	10.8	10.6	▲0.2	▲1.9	
1日平均患者数(人)	入院	152.6	152.7	0.1	0.1
	外来	297.6	295.1	▲2.5	▲0.8
病床1床当たり医業収益(千円)	15,662	15,746	84	0.5	
患者1人1日当たり医業収益(円)	入院	36,019	36,974	955	2.7
	(うち室料差額)	(1,014)	(990)	▲24	▲2.4
	外来	9,290	9,460	170	1.8
1施設当たり従事者数(人)	医師 常勤	19.6	19.9	0.3	1.5
	医師 非常勤	4.5	4.8	0.3	6.7
	看護師・准看護師・看護補助者	134.0	135.8	1.8	1.3
	その他	88.8	93.4	4.6	5.2
	計	246.8	254.0	7.2	2.9
患者規模100人当たり従事者数(人)	医師 常勤	7.8	7.9	0.1	1.3
	医師 非常勤	1.8	1.9	0.1	5.6
	看護師・准看護師・看護補助者	53.2	54.1	0.9	1.7
	その他	37.0	38.9	1.9	5.1
	計	99.8	102.9	3.1	3.1

②収支の状況

一般病院の収支の状況は次のとおりです。

- ①収益構造として、総収益に占める医業収益の割合は97.6%、医業収益に占める入院収入の割合は68.5%、同外来収入の割合は27.3%で、前年度の水準とほぼ同様でした。
入院収入の割合がわずかに増加し、外来収入の割合がわずかに減少しました。
- ②医業収益に対する費用の状況では、人件費51.6%、医療材料費21.5%、給食材料費2.0%、経費が19.7%で、人件費増ではありますが、他経費の減により、計では前年度の水準とほぼ同様となっています。
- ③利益の状況については、医業収益対医業利益率が0.6%、経常収益対経常利益率が0.2%、総収益と総費用の割合である収益率では0.1%と、前年度に引き続き低い水準ですが、若干の増加が見られました。

区 分			一般病院			
			平成19年度	平成20年度	増減(%ポイント)	
収支の状況	収益	総構成収益比 (%)	医業収益	97.4	97.6	0.2
			医業外収益	2.0	1.9	▲ 0.1
			特別利益	0.6	0.5	▲ 0.1
		医業収益構成比 (%)	入院収入	68.3	68.5	0.2
			(うち室料差額)	(1.9)	(1.8)	▲ 0.1
			外来収入	27.6	27.3	▲ 0.3
	費用	医業収益100%の割合	人件費	50.9	51.6	0.7
			医療材料費	22.0	21.5	▲ 0.5
			給食材料費	1.9	2.0	0.1
			(入院患者1人1日当たり)(円)	(985)	(1,061)	—
			経費	19.9	19.7	▲ 0.2
			減価償却費	4.8	4.7	▲ 0.1
計			99.5	99.4	▲ 0.1	
損益分岐点比率 (%)			101.3	101.3	0.0	
経常収益対支払利息率 (%)			1.5	1.4	▲ 0.1	
医業収益対医業利益率 (%)			0.5	0.6	0.1	
経常収益対経常利益率 (%)			0.0	0.2	0.2	
収益率 {1 - (総費用 / 総収益)} × 100 (%)			-0.3	0.1	0.4	
従事者1人当たり年間医業収益 (千円)			11,928	11,841	—	
労働生産性 (千円)			6,131	6,180	—	
従事者1人当たり人件費 (千円)			6,067	6,112	—	
労働分配率 (%)			99.0	98.9	—	

(注1) 全病床に占める一般病床の割合が50%を超える病院を「一般病院」とした。

(注2) 医育機関附属病院及び医師会立病院は含まれていない。

(注3) 「1施設当たり従事者数」、「患者規模100人当たり従事者数」、「従事者1人当たり年間医業収益」、「労働生産性」及び「従事者1人当たり人件費」は、常勤従事者数(非常勤従事者の常勤換算後の従事者数を含む)により算出している。

(注4) 給食材料費には、委託給食費を含む。

(注5) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合もある。

2.療養型病院

①機能性の状況

療養型病院の有効集計対象649施設の機能性の状況は次のとおりです。

①平均病床数は147.7床でした。病床利用率は92.4%、平均在院日数は105.0日、入院外来比が0.58、新患率が7.6%となっており、前年の平成19年度決算での施設の状況とほぼ同じ水準でした。

②病床1床当たり医業収益は8,390千円で前年度比1.0%増、患者1人1日当たり医業収益は入院で19,643円(同2.3%増)、外来で7,811円(同7.0%増)でした。

③従事者数の状況については、1施設当たり従事者数では医師(常勤)5.0人、同(非常勤)2.5人、看護師等85.6人で、患者100人当たり従事者数では医師(常勤)3.0人、同(非常勤)1.5人、看護師等52.6人となり、医師は前年度とほぼ同水準ですが、看護師は若干増加しています。

区 分		療養型病院				
		平成19年度	平成20年度	増減(%ポイント)	対前年増減率(%)	
施設数(施設)		584	649	—	—	
平均病床数(床)		146.0	147.7	1.7	1.2	
病床利用率(%)		93.0	92.4	▲0.6	▲0.6	
平均在院日数(日)		104.6	105.0	0.4	0.4	
入院外来比		0.63	0.58	▲0.05	▲7.9	
新患率(%)		7.6	7.6	0.0	0.0	
1日平均患者数(人)	入院	135.8	136.4	0.6	0.4	
	外来	85.5	78.9	▲6.6	▲7.7	
病床1床当たり医業収益(千円)		8,305	8,390	85	1.0	
患者1人1日当たり 医業収益(円)	入院	19,204	19,643	439	2.3	
	(うち室料差額)	(336)	(354)	18	5.4	
	外来	7,297	7,811	514	7.0	
1施設当たり 従事者数(人)	医師	常勤	5.0	5.0	0.0	0.0
		非常勤	2.4	2.5	0.1	4.2
	看護師・准看護師・看護補助者		84.8	85.6	0.8	0.9
	その他		42.2	44.6	2.4	5.7
計		134.4	137.7	3.3	2.5	
患者規模100人 当たり従事者数(人)	医師	常勤	3.0	3.0	0.0	0.0
		非常勤	1.5	1.5	0.0	0.0
	看護師・准看護師・看護補助者		51.6	52.6	1.0	1.9
	その他		26.3	28.1	1.8	6.8
計		82.4	85.2	2.8	3.4	

②収支の状況

療養型病院の収支の状況は次のとおりです。

- ①収益構造として、総収益に占める医業収益の割合は97.6%、医業収益に占める入院収入の割合は79.0%、同外来収入の割合は14.3%で、前年度の水準とほぼ同様でした。
入院収入の割合がわずかに増加し、外来収入の割合がわずかに減少しました。
- ②医業収益に対する費用の状況では、人件費が55.3%で前年度より増加し、医療材料費が9.9%、給食材料費が4.1%、経費が20.8%で、前年度の水準からわずかに減少しました。
- ③利益の状況については、医業収益対医業利益率が5.3%、経常収益対経常利益率が5.3%、総収益と総費用の割合である収益率では4.8%でした。

区 分			療養型病院			
			平成19年度	平成20年度	増減(%ポイント)	
収支の状況	収益	総構成比 (%)	医業収益	97.3	97.6	0.3
			医業外収益	2.1	2.1	0.0
			特別利益	0.6	0.3	▲ 0.3
		医業収益構成比 (%)	入院収入	78.7	79.0	0.3
			(うち室料差額)	(1.4)	(1.4)	0.0
			外来収入	14.9	14.3	▲ 0.6
	費用	医業収益に占める費用の割合 (%)	その他の医業収入	6.4	6.8	0.4
			人件費	54.7	55.3	0.6
			医療材料費	10.1	9.9	▲ 0.2
			給食材料費	4.2	4.1	▲ 0.1
			(入院患者1人1日当たり)(円)	(1,018)	(1,010)	—
			経費	21.2	20.8	▲ 0.4
			減価償却費	4.6	4.5	▲ 0.1
計	94.8	94.7	▲ 0.1			
損益分岐点比率 (%)			95.5	95.2	▲ 0.3	
経常収益対支払利息率 (%)			1.5	1.4	▲ 0.1	
医業収益対医業利益率 (%)			5.2	5.3	0.1	
経常収益対経常利益率 (%)			5.0	5.3	0.3	
収益率 [1 - (総費用 / 総収益)] × 100 (%)			4.8	4.8	0.0	
従事者1人当たり年間医業収益 (千円)			9,022	8,999	—	
労働生産性 (千円)			5,411	5,461	—	
従事者1人当たり人件費 (千円)			4,939	4,981	—	
労働分配率 (%)			91.3	91.2	—	

(注1) 全病床に占める療養病床の割合が50%を超える病院を「療養型病院」とした。

(注2) 医育機関附属病院及び医師会立病院は含まれていない。

(注3) 「1施設当たり従事者数」、「患者規模100人当たり従事者数」、「従事者1人当たり年間医業収益」、「労働生産性」及び「従事者1人当たり人件費」は、常勤従事者数(非常勤従事者の常勤換算後の従事者数を含む)により算出している。

(注4) 給食材料費には、委託給食費を含む。

(注5) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合もある。

3.精神科病院

①機能性の状況

精神科病院の有効集計対象320施設の機能性の状況は次のとおりです。

- ①平均病床数は278.4床でした。病床利用率は93.5%で前年度と同水準、平均在院日数は314.8日で、前年度より短縮し、また入院外来比が0.29、新患率が2.8%となっており、前年度より減少という結果でした。
 ②病床1床当たり医業収益は5,705千円で前年度比1.2%増、患者1人1日当たり医業収益は入院で14,295円(同1.2%増)、外来で8,874円(同2.2%増)でした。
 ③従事者数の状況については、1施設当たり従事者数では医師(常勤)6.8人、同(非常勤)2.5人、看護師等126.5人で、患者100人当たり従事者数では医師(常勤)2.4人、同(非常勤)0.9人、看護師等44.3人となり、全体的に増加しています。

区 分		精神科病院				
		平成19年度	平成20年度	増減(%ポイント)	対前年増減率(%)	
施設数(施設)		297	320	—	—	
平均病床数(床)		266.3	278.4	12.1	4.5	
病床利用率(%)		93.5	93.5	0.0	0.0	
平均在院日数(日)		325.2	314.8	▲10.4	▲3.2	
入院外来比		0.30	0.29	▲0.01	▲3.3	
新患率(%)		2.9	2.8	▲0.1	▲3.4	
1日平均患者数(人)	入院	249.0	260.4	11.4	4.6	
	外来	73.6	74.4	0.8	1.1	
病床1床当たり医業収益(千円)		5,640	5,705	65	1.2	
患者1人1日当たり 医業収益(円)	入院	14,124	14,295	171	1.2	
	(うち室料差額)	(161)	(152)	▲9	▲5.6	
	外来	8,683	8,874	191	2.2	
1施設当たり 従事者数(人)	医師	常勤	6.4	6.8	0.4	6.3
		非常勤	2.3	2.5	0.2	8.7
	看護師・准看護師・看護補助者		117.4	126.5	9.1	7.8
	その他		48.0	50.4	2.4	5.0
計		174.1	186.1	12.0	6.9	
患者規模100人 当たり従事者数(人)	医師	常勤	2.3	2.4	0.1	4.3
		非常勤	0.8	0.9	0.1	12.5
	看護師・准看護師・看護補助者		42.9	44.3	1.4	3.3
	その他		17.9	18.1	0.2	1.1
計		64.0	65.7	1.7	2.7	

②収支の状況

精神科病院の収支の状況は次のとおりです。

- ①収益構造として、総収益に占める医業収益の割合は96.7%で、前年度と同水準でした。また医業収益に占める入院収入の割合は85.5%、同外来収入の割合は11.8%となり、ともに前年度の水準より減少しました。
- ②医業収益に対する費用の状況では、人件費59.4%、医療材料費8.1%、給食材料費5.3%、経費が18.0%となり、前年度に比べ人件費率で増加、経費率で減少が見られました。
- ③利益の状況については、医業収益対医業利益率が4.2%、経常収益対経常利益率が4.3%、総収益と総費用の割合である収益率は3.5%でした。

区 分			精神科病院			
			平成19年度	平成20年度	増減(%ポイント)	
収支の状況	収益	総構成比 (%)	医業収益	96.7	96.7	0.0
		医業収益構成比 (%)	入院収入	85.7	85.5	▲ 0.2
			(うち室料差額)	(1.0)	(0.9)	▲ 0.1
	費用	医業収益に占める費用の割合 (%)	外来収入	12.1	11.8	▲ 0.3
			その他の医業収入	2.2	2.6	0.4
			人件費	58.9	59.4	0.5
			医療材料費	8.2	8.1	▲ 0.1
			給食材料費	5.3	5.3	0.0
			(入院患者1人1日当たり)(円)	(868)	(888)	—
	経費	18.3	18.0	▲ 0.3		
	減価償却費	5.1	5.0	▲ 0.1		
	計	95.8	95.8	0.0		
	損益分岐点比率 (%)			96.8	96.7	▲ 0.1
経常収益対支払利息率 (%)			1.4	1.4	0.0	
医業収益対医業利益率 (%)			4.2	4.2	0.0	
経常収益対経常利益率 (%)			4.1	4.3	0.2	
収益率 [1 - (総費用 / 総収益)] × 100 (%)			3.7	3.5	▲ 0.2	
従事者1人当たり年間医業収益 (千円)			8,629	8,536	—	
労働生産性 (千円)			5,446	5,429	—	
従事者1人当たり人件費 (千円)			5,083	5,071	—	
労働分配率 (%)			93.3	93.4	—	

(注1) 全病床に占める精神科病床の割合が80%を超える病院を「精神科病院」とした。

(注2) 医育機関附属病院及び医師会立病院は含まれていない。

(注3) 「1施設当たり従事者数」、「患者規模100人当たり従事者数」、「従事者1人当たり年間医業収益」、「労働生産性」及び「従事者1人当たり人件費」は、常勤従事者数(非常勤従事者の常勤換算後の従事者数を含む)により算出している。

(注4) 給食材料費には、委託給食費を含む。

(注5) 数値は四捨五入のため、内訳の合計が合わない場合もある。